

令和 2 年 2 月 3 日
観測部
地球環境・海洋部

1月の天候

2020年（令和2年）1月の日本の天候は、東・西日本では記録的な高温となりました。日本海側を中心に降雪量は記録的に少なくなりました。沖縄・奄美では、降水量がかなり少なく、日照時間がかなり多くなりました。

2020年（令和2年）1月の天候の特徴は以下のとおりです。

東・西日本では記録的な高温となりました
全国的に寒気の南下が弱かったため、気温は東・西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北日本では高くなりました。東・西日本では、1946年の統計開始以降1月として1位の高温となりました。

日本海側を中心に降雪量は記録的に少なくなりました
冬型の気圧配置が続かず、全国的に寒気の南下が弱かったため、日本海側を中心に降雪量はかなり少なくなりました。北・東・西日本日本海側の降雪量はかなり少なく、1961年の統計開始以降1月として最も少なくなりました。また、北日本日本海側は降水量もかなり少なく、1946年の統計開始以降1月として最も少なくなりました。

沖縄・奄美では、降水量がかなり少なく、日照時間がかなり多くなりました
沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすかったため、降水量がかなり少なく、日照時間がかなり多くなりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:373KB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko2001_besshi.pdf

問合せ先：観測部 計画課情報管理室 担当 村井(観測値や記録について)
電話 03-3212-8341 (内線 4154) FAX 03-3217-3615
地球環境・海洋部 気候情報課 担当 竹川(天候の解説について)
電話 03-3212-8341 (内線 3154) FAX 03-3211-8406